

15 緑 化

- (1) 環境緑化
- (2) 緑の少年団
- (3) 青森県植樹祭
- (4) 青森県育樹祭
- (5) 青森県山・川・海の感謝祭
- (6) 第21回緑の少年団全国大会

15 緑 化

(1) 環境緑化

緑化事業を推進し、県民の緑化思想の高揚を図っています。

事業内容

美しい森林づくり県民運動、環境緑化の普及啓発

(2) 緑の少年団

(公社) 青森県緑化推進委員会とともに緑の少年団の育成指導を行っています。

■ 指導方針

- ① 自然に対する認識を深める活動
- ② 自然と歴史を含めた郷土社会を総合的に理解する活動
- ③ 普段の生活とは異なる「森の生活」を通じて、知識や技能を身につけ、問題解決能力を学ぶ活動
- ④ 豊かな自然環境の中で、集団活動を通じて人間的ふれあいを深める活動
- ⑤ 恵み多い「郷土の森林」を守り育てる基礎的な活動

ア 緑の少幼年団連盟への活動支援

(公社) 青森県緑化推進委員会とともに次の活動を支援しています。

- ① 緑の少年団指導者研修
- ② 緑の少年団の優良活動表彰

イ 緑の少(幼)年団の結成状況

県民局	市町村	少年団名	団員数			結成年月日	代表団体名
			男	女	計		
東青	青森市	ヒノキアスナロ緑の少年団	8	5	13	S58. 5. 15	ヒノキアスナロ緑の少年団育成会
	青森市	和幸保育園みどりの幼年団	12	13	25	S59. 12. 22	社会福祉法人和幸保育園
	青森市	泉川保育園みどりの幼年団	19	19	38	S59. 12. 22	社会福祉法人泉川保育園
	青森市	あすなろ幼稚園緑の幼年団	29	18	47	H 6. 7. 7	あすなろ幼稚園
	青森市	青森中央短期大学付属第一幼稚園	22	21	43	H28. 3. 20	青森中央短期大学付属第一幼稚園
	青森市	女鹿沢緑の少年団	0	0	0	S60. 12. 1	羽賀 敬弘
	今別町	今別緑の少年団	4	10	14	H15. 6. 11	今別小学校
	外ヶ浜町	風のまちこども園みどりの幼年団	13	7	20	H30. 5. 31	風のまちこども園
中南	藤崎町	ふじこども園みどりの少年団	22	14	36	R2. 7. 28	ふじこども園
	平川市	白岩緑の少年団	15	11	26	S61. 7. 13	白岩子ども会
	平川市	南田中緑の少年団	14	9	23	H13. 8. 1	南田中町会

県民局	市町村	少年団名	団員数			結成年月日	代表団体名
			男	女	計		
三八	三戸町	杉沢小学校緑の少年団	2	2	4	S63.12.14	杉沢小学校
	三戸町	貝森みどりの少年団	6	4	10	S63.12.17	貝守町内会
	新郷村	新郷小緑の少年団	2	5	7	R3.4.1	新郷小学校
	階上町	赤保内小学校緑の少年団	107	87	194	R3.5.17	赤保内小学校
	階上町	石鉢緑の少年団	104	103	207	R3.5.27	石鉢小学校
	五戸町	くらいしこども園 みどりの幼年団	14	12	26	R2.12.26	社会福祉法人未萌会 くらいしこども園
西北	五所川原市	東峰小学校緑の少年団	36	23	59	H22.4.1	東峰小学校
	五所川原市	市浦小学校緑の少年団	8	4	12	S61.6.16	市浦小学校
	五所川原市	かなぎ緑の少年団	20	24	44	H27.4.1	金木小学校
	つがる市	もりた緑の少年団	6	9	15	H5.5.19	森田小学校
	つがる市	かしわ小緑の少年団	23	24	47	H8.5.31	柏小学校
	つがる市	しゃりき緑の少年団	22	27	49	S60.12.1	車力小学校
	中泊町	薄市小学校緑の少年団	5	5	10	H14.6.24	薄市小学校
	鱒ヶ沢町	舞戸小緑の少年団	14	16	30	H23.4.26	舞戸小学校
	鱒ヶ沢町	さいかい小学校緑の少年団	11	3	14	H23.5.20	西海小学校
	深浦町	いわさき小緑の少年団	13	15	28	H13.2.23	いわさき小学校
上北	十和田市	深持緑の少年団	13	18	31	S59.11.12	深持小学校
	六戸町	六戸小学校メイプル緑の少年団	19	18	37	H14.6.21	六戸小学校
	六ヶ所村	尾駈小緑の少年団	18	21	39	H3.2.7	尾駈小学校
下北	むつ市	むつ市緑の少年団	5	14	19	S63.8.6	森小 静子
	むつ市	小目名ひばの子森林警備隊	3	3	6	S46.6.10	北上 佳織
	むつ市	二枚橋小学校緑の少年団	1	2	3	H8.6.25	二枚橋小学校
	むつ市	よしの保育園みどりの幼年団	18	17	35	H30.11.20	社会福祉法人桜木会
	風間浦村	風間浦緑の少年団	27	26	53	H28.4.1	風間浦小学校
合計			665	606	1271		35 団体

(令和3年5月31日現在)

(3) 青森県植樹祭

青森県植樹祭は昭和25年から開催しており、県民に森林整備に直接参加する機会を提供することで、森林の持つ多面的機能の普及啓発を行いました。

平成17年度からは「青森県山・川・海の感謝祭」へ移行しました。

回数	年度	実施市町村	実施場所	実施月日	備考
1	昭和25	青森市			
2	26	むつ市	旧田名部町		
3	27	大鰐町			
4	28	八戸市			
5	29	青森市	野内村久栗坂	5月22日	
6	30	〃	野内村浅虫	5月5日	
7	31	〃	野内村久栗坂	5月3日	
8	32	〃	浅虫スキー場	5月4日	
9	33	〃	野内村久栗坂	5月2日	
10	34	〃	〃	5月2日	
11	35	〃	久栗坂国有林		
12	36	〃	津島文治碑の斜面		
13	37	〃	萱野高原	5月10日	
14	38	〃		5月20日	全国植樹祭(平内町夜越山)
15	39	〃	運動公園	5月20日	
16	40	〃	荒川・高田財産区	5月7日	
17	41	〃	下湯温泉	5月7日	
18	42	〃	浅虫・馬場山	5月6日	
19	43	浪岡町	梵珠山	5月2日	明治百周年記念
20	44	岩木町	岳	5月2日	
21	45	五所川原市	神山	5月2日	
22	46	青森市	下湯・高田財団区	5月14日	
23	47	東北町	東北町森林組合所有林内	5月2日	
24	48	平内町	夜越山森林公園	5月19日	
25	49	八戸市	八戸市森林センター(十日町)	5月9日	
26	50	むつ市	早掛沼公園	5月15日	
27	51	大鰐町	大鰐運動公園	5月12日	
28	52	蟹田町	蟹田町河川公園	5月12日	

回数	年度	実施市町村	実施場所	実施月日	備考
29	昭和 53	鱒ヶ沢町	大高山	5月12日	
30	54	名川町	名川町レクリエーションセンター	5月17日	
31	55	黒石市	東公園	5月14日	
32	56	青森市	月見野森林公園	5月13日	
33	57	十和田市	高森山森林公園	5月31日	
34	58	鶴田町	鶴寿公園	6月3日	
35	59	むつ市	墓地公園	5月30日	
36	60	平賀町	白岩公園	5月31日	
37	61	新郷村	間木ノ平グリーンパーク	5月28日	
38	62	平内町	夜越山森林公園	6月10日	
39	63	深浦町	八森山町民の森	6月10日	
40	平成 1	弘前市	一野渡宇山下地内	5月18日	
41	2	野辺地町	柴崎地内	5月17日	
42	3	中里町	袴越山地内	6月4日	
43	4	東通村	東通村役場前	6月2日	
44	5	田子町	大黒森地区	6月9日	
45	6	七戸町	荒熊内（七戸町道の駅付近）	5月27日	
46	7	相馬村	星と森のロマンピア	6月7日	
47	8	森田村	つがる地球村	6月5日	
48	9	階上町	登切小学校	5月27日	
49	10	六ヶ所村	社会福祉施設エリア内	7月1日	
50	11	岩崎村	サンタランド白神	5月25日	
51	12	金木町	運動公園	5月25日	
52	13	碓ヶ関村	たけのこの里	6月6日	
53	14	天間林村	中央公園	6月8日	国庫補助事業
54	15	八戸市	八戸公園	6月7日	〃
55	16	蓬田村	玉松台スポーツガーデン	6月27日	〃

(4) 青森県育樹祭

平成9年に開催された第21回全国育樹祭を契機に高まりつつある緑化気運を受け、次世代を担う子供たちとその家族を中心とし、森林の整備に対する普及啓発を図るとともに、地域ぐるみの理解と支援を得つつ、育樹運動の発展的展開に資するため、平成12から16年度まで開催しました。

平成17年度からは「青森県山・川・海の感謝祭」へ移行しました。

回数	年度	実施市町村	実施場所	実施月日
1	平成12	東通村	下北郡東通村砂子又地区（東通村役場周辺）	10月29日
2	13	今別町	眺海の森林（今別町営スキー場）	10月21日
3	14	岩木町	岩木山総合運動公園	9月22日
4	15	十和田市	称徳館	10月12日
5	16	鶴田町	富士見湖パーク	10月17日

(5) 青森県山・川・海の感謝祭

県民の暮らしを支える山・川・海の豊かな自然は貴重な財産であり、それらを結びつける「きれいな水」を次世代に引き継いでいかなければならない。生活に潤いを与え、農林水産業の発展を支える、この豊かな水の恵みに感謝し、山・川・海を再生・保全することの大切さを広く県民に発信するために平成17年度から平成20年度まで開催しました。

回数	年度	実施市町村	実施場所	実施月日
1	平成17	平内町	平内町夜越山森林公園・青少年の森ほか	10月2日
2	18	平内町	〃	10月1日
3	19	十和田市	十和田市馬事公苑ほか	9月30日
4	20	鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢町大高山総合公園ほか	10月5日

(6) 第21回緑の少年団全国大会

次代を担う全国の緑の少年団が一堂に会し、「ぼくたちが 未来へつなぐ 青い森」を大会テーマに、本県の自然の中での体験活動や共同生活を通じて、互いに交流し相互の理解と連携を深め、自然を愛し緑を育てる心を育むとともに、青森県の豊かな自然と文化等を全国に広く紹介するために開催しました。

- ① 記念式典〔平成22年7月28日〕 青森公立大学講堂
- ② 交流活動(体験活動)〔7月29日〕 津軽地区：岩木青少年スポーツセンター
南部地区：公立小川原湖青年の家
- ③ 交流活動(交流活動発表会)、閉会式〔7月30日〕 青森公立大学講堂
- ④ 参加者 記念式典 657名、交流活動・閉会式 442名

16 社会全体で支える 森林づくり

- (1) 企業の森づくり
- (2) J-クレジット制度

16 社会全体で支える森林づくり

森林が持つ水源かん養や地球温暖化防止等の公益的機能を十分に発揮させるためには、適切な森林整備を実施し、健全な状態を維持することが重要ですが、木材価格の低迷や山村地域の過疎化、高齢化等により森林所有者による十分な手入れが成されない状況にあります。

このため、森林整備を社会全体で支える取組を行っています。

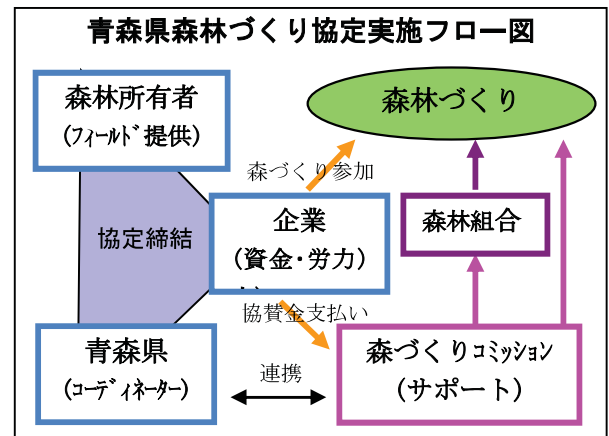
(1) 企業の森づくり

企業が社会貢献の一環として行う森林整備活動を支援・推進するため、森林情報の提供や森づくりのアドバイス、森林所有者とのマッチング等を行っています。

ア 企業の森づくり支援の概要

森林整備等の実施を希望する企業や団体へ、県内の森林情報を提供し、森づくり活動の候補地の推薦や計画提案を行っています。協議が整った後は、企業等と森林所有者、県の三者で「青森県森林づくり協定」を締結し、森林整備の実施を支援します。

また、平成22年度からは「青森県森づくりコミッション」と連携しながら企業の活動をサポートしています。



イ 協定締結実績

(ア) 森林整備を行う協定

(R3年6月30日時点)

	企業名	協定日	対象市町村	対象面積	活動内容	期間
1	青森銀行従業員組合	H20. 10. 15	青森市	1.00 ha	植栽	3年
2	(株) 東芝	H21. 5. 7	七戸町	3.00 ha	植栽	5年
			三沢市	15.00 ha 0.16 ha	除間伐 植栽	5年
		H26. 6. 12	三沢市	0.27 ha	植栽	3年
		H26. 9. 4	三沢市	17.63 ha	間伐	3年
3	東芝映像ソリューション(株)	H29. 4. 17	三沢市	0.30 ha	植栽	3年
4	(社) 日本エネコ協会連盟 (株) レインボー・ジャパン	H22. 3. 25	西目屋村	4.40 ha	間伐・植栽	5年
5	積水ハウス(株) 東北営業本部	H22. 8. 2	五所川原市	1.37 ha	植栽	5年
6	イオングループ東北4社	H22. 8. 26	八戸市	5.00 ha	間伐・植栽他	5年
7	(株) フラクタル設計事務所	H22. 10. 8	黒石市	2.29 ha	植栽	5年
		H26. 1. 27	青森市	1.11 ha	植栽	5年
		H29. 2. 14	青森市	0.90 ha	植栽	5年
		R 2. 4. 16	青森市	0.90 ha	植栽	6年
8	日本原燃労働組合	H23. 11. 9	六ヶ所村	1.00 ha	植栽	5年
9	農林中央金庫青森支店	H24. 11. 15	弘前市	0.55 ha	間伐・植栽	1年
		H27. 2. 10	青森市	0.14 ha	植栽	1年
		H28. 2. 10	深浦町	0.10 ha	植栽	1年
		H29. 2. 9	むつ市	0.10 ha	植栽	1年
		H30. 2. 28	七戸町	0.10 ha	植栽	1年
		R 3. 1. 25	青森市	0.20 ha	植栽	1年
10	KDDI(株)	H25. 8. 21	八戸市	5.00 ha	間伐	5年
11	ホームック株式会社	H26. 3. 26	青森市	0.58 ha	植栽	5年
			八戸市	0.14 ha	植栽	5年

	企業名	協定日	対象市町村	対象面積	活動内容	期間
12	楽天(株)	H26. 9. 16	弘前市	3.30 ha	間伐	3年
13	青森トヨペット(株)	H26. 5. 20	南部町	4.90 ha	間伐・枝打ち	5年
		H27. 6. 5	三沢市	0.10 ha	下刈り	5年
14	(株)大山重工	H27. 11. 16	五戸町	1.02 ha	植栽	10年
15	(株)曾我産業	H27. 12. 14	八戸市	3.49 ha	間伐	5年
		R 2. 11. 11	八戸市	2.65 ha	間伐	8年
16	(有)ジャムフレンドクラブ 青森	H30. 9. 10	七戸町	0.20 ha	植栽	1年
		H31. 4. 19	三沢市	0.06 ha	植栽	1年
17	(有)ニコニコ	H30. 11. 7	八戸市	0.30 ha	植栽	3年
18	(株)村下建設工業	R元. 9. 13	新郷村	2.57 ha	除間伐	5年
19	国土防災技術(株)青森支店	R元. 9. 25	おいらせ町	0.14 ha	植栽	5年
20	戸来造林企業組合	R 2. 3. 9	新郷村	0.72 ha	植栽	5年

(イ) 林業の魅力発信する協定

これまでの植樹等の森林整備による企業の森づくりに加えて、新たに林業の魅力発信や人づくりなどの活動を企業の協力により実施しました。

	企業名	協定日	取組内容	期間
1	(株)ニコイメージングジャパン (株)マエダ 川口印刷工業(株)	H30. 6. 27	「キョリカレンダー」の制作・販売 森林・林業の魅力発信する写真展の開催	3年

(2) Jークレジット制度

地球温暖化の防止や社会全体で森づくりを支える取り組みを進めるため、経済産業省、環境省、農林水産省が運営するJークレジット制度を活用し、青森市八重菊県有林の「J-VERクレジット」、階上町寺下県民環境林の「Jークレジット」の認証を取得しています。

ア Jークレジットプロジェクトの概要

- ① 青森市八重菊県有林
 - ・ プロジェクト名
青森県県有林森林吸収プロジェクト（幸せの青い森プロジェクト）
 - ・ 場所
八重菊県有林（青森市横内字八重菊）
 - ・ 間伐面積
39.68ha（平成21～24年度）
 - ・ 樹種
スギ30～44年生（令和3年度時点）
- ② 階上町寺下県民環境林
 - ・ プロジェクト名
階上町大字赤保内字寺下県民環境林森林経営活動プロジェクト
 - ・ 場所
寺下県民環境林（階上町大字赤保内字寺下）
 - ・ 間伐面積
81.60ha（平成27年度）
 - ・ 樹種
スギ・アカマツ混交林47～48年生（令和3年度時点）

イ J-クレジット認証・販売実績

認 証				販 売			
認証年月日	認証量(t-CO2)		発行年月日	発行量 (t-CO2)	契約日	販売先	数量 (t-CO2)
		うちバフアー					
H23. 2. 14	507	15	H23. 3. 31	492	H23. 7. 27	(株)青森銀行	50
					〃	(株)みちのく銀行	50
					H23. 11. 9	青い森信用金庫	50
					H23. 11. 30	カルビー株式会社カルネコ事業部	10
H24. 2. 28	297	8	H24. 3. 29	289	H24. 4. 13	カルビー株式会社カルネコ事業部	4
					H24. 10. 5	企業組合県木住	10
					H25. 1. 10	カルビー株式会社カルネコ事業部	55
					H25. 1. 23	東芝グループ	17
					〃	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	1
					H25. 2. 27	森永乳業(株)	7
					H25. 3. 28	居酒屋跳人	1
					H25. 4. 18	カルビー株式会社カルネコ事業部	1
					H25. 6. 20	企業組合県木住	10
H25. 8. 26	868	27	H25. 9. 17	841	H26. 1. 7	カルビー株式会社カルネコ事業部	10
					H26. 1. 8	企業組合県木住	10
					H26. 1. 14	NP0法人青森県環境パートナーシップセンター	1
					H26. 3. 18	青森県治山システム協会上北支部	21
					H26. 3. 24	居酒屋跳人	1
					H26. 4. 23	東北建設(株)	3
					H26. 6. 9	特定非営利活動法人青森県樹木医会	24
					H27. 1. 26	第3回国連防災世界会議仙台会議実行委員会	1
					H27. 2. 17	森永乳業(株)	1
					H27. 10. 26	東北建設(株)	3
					H27. 10. 28	北日本管工業(株)	50
					H27. 11. 26	弘前大学公認環境サークルわどわ	1
					H27. 12. 3	コベルコ建機(株)(使用者:(有)千葉林業)	4
H28. 2. 1	131	3		128	H28. 5. 19	特定非営利活動法人青森県樹木医会	10
					H28. 7. 6	伊勢志摩サミットのカーボンオフセットへの協力(無償提供)	50
					H28. 8. 25	相馬村農業協同組合	1
					H29. 3. 21	(企業名非公表)	12
					H29. 3. 27	コベルコ建機(株)(使用者:(有)千葉林業、(株)平川林業)	6
					H29. 10. 4	相馬村農業協同組合	1
					H29. 10. 23	(企業名非公表)	1

認証年月日	認証量 (t-CO2)		発行年月日	発行量 (t-CO2)	契約日	販売先	数量 (t-CO2)
		うちオフセット					
					H30. 5. 1	コベルコ建機(株)(使用者:(株)レンタルのニッケン)	3
					H30. 5. 23	SB パワー(株)	2
					H30. 9. 3	相馬村農業協同組合	1
					H30. 11. 15	SB パワー(株)	10
					H31. 3. 18	コベルコ建機(株)(使用者:(有)千葉林業)	3
					R 元. 8. 19	SB パワー(株)	12
					R 元. 8. 19	国分グループ本社 (株)	5
					R 元. 9. 4	相馬村農業協同組合	1
					R 元. 11. 20	(一社)青森県林業コンサルタント	15
					R2. 6. 16	SB パワー(株)	9
					R2. 9. 10	相馬村農業協同組合	1
					R3. 1. 19	三沢市ソーラーシステムメンテナンス事業協同組合	28
					R3. 2. 9	SB パワー(株)	8
計	1, 803	53		1, 750			575

17 試 験 研 究

- (1) 地方独立行政法人
青森県産業技術センター林業研究所の概要
- (2) 令和3年度試験研究課題

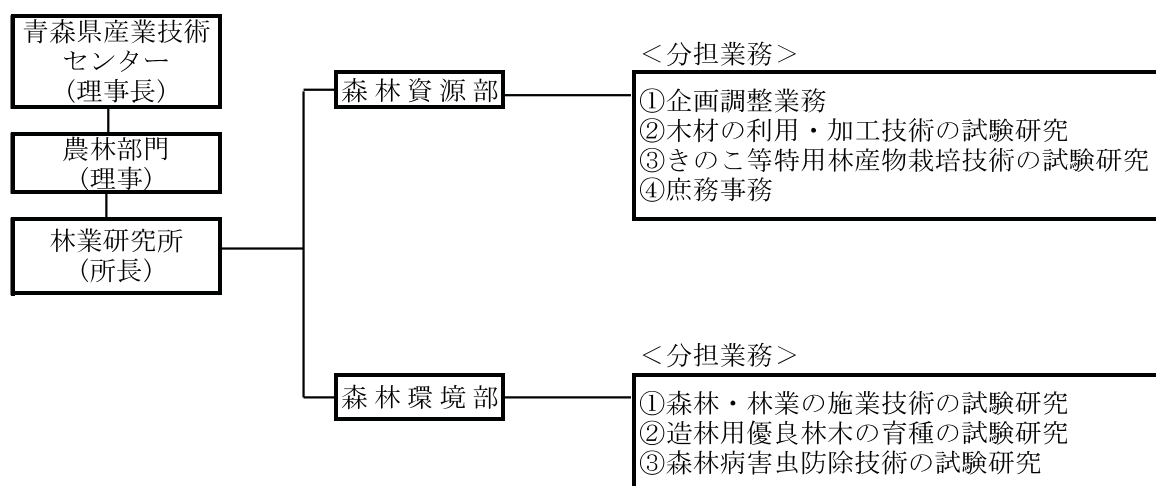
17 試 験 研 究

(1) 地方独立行政法人青森県産業技術センター林業研究所の概要

ア 沿革

昭和36年12月15日	林業試験場の組織発足
昭和37年 4月 1日	庁舎竣工、研究業務開始
昭和52年 4月 1日	青森県林木育種場を合併、当场十和田支場となる。
平成 5年 3月25日	新庁舎（研究管理棟、木材利用実験棟）竣工
平成 5年12月15日	研修棟竣工
平成11年 3月31日	十和田支場廃止
平成15年 4月 1日	青森県農林総合研究センターの下部機関となる。 加工技術部が加わる。 (旧工業試験場木工分場廃止による。)
平成18年 4月 1日	森林環境部、木材加工部の二部体制となる。
平成21年 4月 1日	地方独立行政法人青森県産業技術センター林業研究所となる。
平成27年 4月 1日	木材加工部を森林資源部に組織改正

イ 組織と業務



ウ 施設

土地		
研究所用地	(平内町大字小湊字新道地内)	50,649 m ²
実験林	(平内町大字小湊字山館地内)	765,461 m ²
十和田ほ場	(十和田市大字相内字高清水地内)	197,165 m ²
乙供採種園	(東北町字乙供山、篠内平地内)	80,984 m ²
	計	1,094,259 m ²
主な建物		
研究管理棟		959 m ²
木材利用実験棟		752 m ²
研修棟		643 m ²
きのこ栽培研究棟		119 m ²
林木育種研究棟 (十和田ほ場)		232 m ²

(2) 令和3年度試験研究課題

分野	課題名	経費区分	研究期間	担当部	研究概要	実施場所	
林業や森林整備に関する試験・研究開発	林木育種 造林 森林施業	林業用優良林木の育種・増産技術に関する試験・研究開発	県交付金 (開発研究)	R1~5	森林環境部	マツ材線虫病抵抗性クロマツの作出、スギ並みに成長するヒバの挿し木優良品種の育成、花粉症対策スギの苗木増産技術の試験・研究開発を行う。	十和田ほ場
		カラマツ人工林の施業技術に関する試験・研究開発	県交付金 (開発研究)	R1~5		カラマツの生育状況及び被害発生状況の調査による立地環境に適合した施業方法を研究し、本県の環境に適した造成技術等の試験・研究開発を行う。	県内一円
		試験林・検定林等の調査管理及び林業技術指導事業	県交付金 (支援研究)	S47~R5		次代検定林や試験林の整備・維持を図り、長期的な基礎調査データの収集及び試験に必要な種苗の生産並びに林業の技術的指導を行う。	県内一円
		十和田ほ場管理等育種種子生産事業	県交付金 (支援研究)	H21~R5		林業種苗法に基づく精英樹を主な母樹とした採種園・採穂園整備や造林用の優良種苗の生産配布を行う。	十和田ほ場
		再造林推進種苗生産管理事業	県交付金 (一般政策)	R1~3		伐採跡地の再造林を強力に推進するため、カラマツ種子の安定生産を目指し、採種園の整備・管理を行う。	乙供採種園 (東北町)
		スギ花粉症対策品種転換事業	県交付金 (一般政策)	R2~4		安定的な林業用種苗の確保に向け、県内のスギ苗木を花粉症対策品種に転換するため、特定母樹採種園の整備を行う。	十和田ほ場
		多目的造林機械を用いた造林・保育作業における省力化技術に関する試験・研究	県交付金 (支援研究、チャレンジ研究)	R3~4		造林・保育作業の省力化に向け、多目的造林機械を用いた下刈り及び地拵え作業の実証試験、下刈り作業強度の調査を行う。	県内一円
	森林保護	マツ材線虫病の病理理解に資する抵抗性クロマツ樹体内の病原菌の分布と増殖特性の解明	科学研究費 (競争的資金)	R2~4		マツ材線虫病の病理を解明するため、抵抗性クロマツ樹体内の病原体(マツノザイセンチュウ)の分布と増殖特性を研究する。 ※森林総合研究所林木育種センターとの共同研究	所内
		森林の公益的機能を守る森林病虫害対策技術に関する試験・研究開発	県交付金 (開発研究)	R1~5		ナラ枯れ被害などの森林病虫害対策の集中化と効率化のために、被害が発生しやすい地域を抽出し、ハザードマップなどを作成する。また、被害材が搬出可能な森林において、病虫害の駆除と材利用が両立できる技術などの試験・研究開発を行う。	県内一円
		マツ材線虫病などの森林病虫害発生予察及び防除指導事業	県交付金 (支援研究)	R1~5		マツ材線虫病やナラ枯れ、ツキノワグマの剥皮被害など各種森林病虫害に関する被害状況の把握とデータ収集を行い、防除対策の検討・技術指導を行う。	県内一円
		松くい虫被害防止対策強化事業	県交付金 (一般政策)	H26~R3		松くい虫被害を防止するため、県と連携して加害生物のモニタリングや被害木の診断・調査等を行う。	県内一円
		西津軽地域松くい虫被害緊急対策事業	県交付金 (緊急課題)	H28~R3		西津軽地域の松くい虫被害発生地域周辺に潜在している恐れがある被害木等を徹底駆除するため、異常木等の被害診断や調査を行う。	深浦町
		県南地域松くい虫被害緊急対策事業	県交付金 (緊急課題)	H30~R3		県南地域の松くい虫被害発生地域周辺に潜在している恐れがある被害木等を徹底駆除するため、異常木等の被害診断や調査を行う。	南部町
		ナラ枯れ被害防止対策事業	県交付金 (一般政策)	H26~R3		ナラ枯れ被害を防止するため、加害昆虫であるカシノナガキクイムシの生息状況等の調査を行う。	中南・西北

分野	課題名	経費区分	研究期間	担当部	研究概要	実施場所	
森林資源の活用に関する試験・研究開発	森林資源	リモートセンシングやICT技術を活用した森林資源調査手法に関する試験・研究開発	県交付金 (戦略課題)	R1~3	森林資源部	森林調査の効率化・高精度化を図るため、地上レーザー、UAV（ドローン）レーザー等、リモートセンシング技術の実用化に向けた試験・研究開発を行う。	平内町
	木材加工	生産性を高める製材技術と高付加価値製品に関する試験・研究開発	県交付金 (開発研究)	R1~5		丸太段階での材質予測などによる効率的・省エネ・低コストの製材技術の開発や難燃加工などの高性能木製品の試験・研究開発を行う。	所内
	特用林産	売れる新品種きのこの育種と高付加価値栽培技術に関する試験・研究開発	県交付金 (開発研究)	R1~5		成分育種によるシイタケなどきのこの新品種開発及びきのこの有用成分強化栽培技術に関する試験・研究開発を行う。	所内
		きのこの種菌供給及び林産物生産技術指導事業	県交付金 (支援研究)	R1~5		きのこの種菌の供給及び特用林産物並びに県産材の需要拡大を図るため、県内の生産者等への技術指導を行う。	所内
		あおもり産野生きのこ安全性実証事業	県交付金 (緊急課題)	H26~R3		出荷制限がかけられている青森県産野生きのこについて、放射性物質の測定分析等を行い、安全性を統計的に検証するなど、出荷制限解除に向けた調査研究を行う。	青森市 十和田市 鱒ヶ沢町 階上町
		青森きくらげ普及事業	県交付金 (一般政策)	R3-4		青森きくらげの種菌供給に必要な機器の整備や品質向上に向けた栽培・管理技術の調査研究及び生産者指導を行う。	県内一円
		「TSUGARUうるし」造成モデル実証事業	県交付金 (中南部民局重点)	R2-3		県産漆の安定供給を支える「TSUGARUうるし」を造成していくため、優良系統苗木の生産技術の普及や苗木植栽地の生育状況調査を行う。	中 南

18 参 考 資 料

- (1) 林業関係事業負担率一覧表
- (2) 林業功労者の表彰
- (3) 緑化功労者の表彰
- (4) 林業関係団体
- (5) 青森県森林審議会
- (6) 林業行政歴代課長等

18 参 考 資 料

(1) 林業関係事業負担率一覧表

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
林業労働力確保 支援センター 事業		職業病健康診断助成事業		1/4		
		蜂抗体検査促進事業		1/2		
		伐木等業務安全衛生再教育事業		10/10		
		林退共掛金助成事業		1/5		
		労災保険掛金助成事業		1/6		
		高性能林業機械作業システム等研修事業		10/10		
		安全巡回指導事業	1/2			
		事業体安全管理手法等指導事業	1/2	1/2		
山地治山 総合対策	復旧治山	天然現象等によって発生した崩壊地、荒廃溪流等の復旧整備を行うもので、1・2級河川上流、市街地又は集落（人家10戸以上）、主要公共施設、農地（10ha以上）、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路を保護するもの 全体計画 7,000万円以上	通常地域 1/2 火山地域 5.5/10	1/2 4.5/10	- -	
	緊急予防治山	地域における減災に関する取組と併せて行う水源のかん養及び山地災害の防止のために緊急的に行う荒廃危険山地の崩壊等を予防を行うものであり、次のいずれかに該当するもの 1 山地災害危険地区に指定され危険度評価が高く、山地災害危険地区に関する情報が地域住民に周知されているもの 2 治山施設の効果区域内に存在する保安林で、水土保持機能が著しく低下し、土砂等の流出が発生するおそれがあるもの 3 市街地又は集落（人家10戸以上）を対象として行うもの 年間計画 山腹 800万円以上 溪流 1,500万円以上	通常地域 1/2 火山地域 5.5/10	1/2 4.5/10	- -	

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
山地治山総合対策	緊急機能強化・老朽化対策	<p>既存の治山施設を有効活用して、山地災害を未然に防止し、生活環境基盤の整備に資するために緊急的に行う機能強化対策および老朽化対策であり、次の1及び2の条件を満たすもの（老朽化対策のみを「実施する場合にあっては1及び3の条件を満たすもの）</p> <p>1 山地災害危険地区に指定され危険度評価が高いもの又は地域防災計画の等の警戒避難体制の整備に関する計画において避難経路等に指定されている道路に被害を及ぼすおそれのあるもの</p> <p>2 全体計画の工事規模が3,000万円以上のもの（山地災害危険地区に関する情報が地域住民に周知されており、同等の機能を有する治山施設の新設に係るコスト比較を行うものに限る）</p> <p>3 年度計画の工事規模が200万円以上のもの</p>	通常地域 1/2 火山地域 5.5/10	1/2 4.5/10	- -	
	地すべり防止	<p>地すべり防止区域内の地すべり防止工事を実施するもので、1・2級河川上流、集落又は市街地（人家10戸以上）、主要公共施設、農地（10ha以上）、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路を保護するもの</p> <p>全体計画 1億円以上</p>	1/2	1/2	-	
	防 災 林 成	<p>風倒木、山火事、強風、高潮・津波、風浪、なだれ等により機能が失われた森林や泥流等の発生時緩衝帯としての機能を発揮できる森林の造成を実施するもので、市街地または集落、主要公共施設、農地、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路を保護するもの</p> <p>年度計画 500万円以上</p>	1/2	1/2	-	
	保安林整備 (保安林緊急改良)	<p>既往の治山施設施行地であり、森林所有者等に責に帰しえない原因のため、現況が悪化し、施設目的が果たしえられない箇所及び施行地以外の保安林で前記の原因により破壊された箇所において、簡易施設を組合わせて植栽を実施するもので、市街地または集落、主要公共施設、農地、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路を保護するもの</p> <p>年度計画 400万円以上</p>	1/2	1/2	-	

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
水源地域等保安林整備	水源森林再生対策	<p>森林法第25条第1項に基づき農林水産大臣の指定する重要流域内の地域で、次の1から3のいずれかと、4から6の全ての条件を満たすもの</p> <p>1 土砂の流入等が著しいダムに係る水源地域であって、森林面積がおおむね3,000ha以上であり、かつ、育成複層林への誘導・造成等の整備を必要とする森林面積がおおむね100ha以上の地域</p> <p>2 給水等の対象人家が100戸以上の集落等に係る水源地域であって、森林面積がおおむね200ha以上で、かつ育成複層林への誘導・造成等の整備を必要とする森林面積がおおむね50ha以上の地域</p> <p>3 1及び2以外の水源地域であり、森林面積がおおむね1,000ha以上で、かつ育成複層林への誘導・造成等の整備を必要とする森林面積がおおむね50ha以上の地域</p> <p>4 当該地域の森林面積のおおむね30%以上が森林法第25条第1項第1号から7号までにあげる目的のいずれかを達成するための保安林</p> <p>5 当該地域の山地荒廃率が0.5%以上か、又は放置すれば0.5%以上に移行するおそれがあるもの</p> <p>6 全体計画の工事規模が1億5千万円以上のもの</p>	通常地域 1/2	1/2	-	
	奥地保安林保全緊急対策	<p>奥地水源地域等の保安林において天然現象等によって発生した荒廃地、荒廃森林等で、荒廃の拡大又は土砂、流木等の流出により現に下流に被害を与え又は被害を与えるおそれがある、流域保全上重要なもので次のすべてに該当するもの</p> <p>1 1級河川又は2級河川上流に位置し、かつ事業対象地域の保安林面積がおおむね50ha以上であること</p> <p>2 年度計画の工事規模が800万円以上のもの</p>	通常地域 1/2	1/2	-	
			火山地域 5.5/10	4.5/10	-	

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
水源地域等保安林整備	水源の緊急備	<p>山村集落周辺の保安林において、天然現象等によって発生した荒廃地、荒廃森林等で、荒廃の拡大又は土砂、流木等の流出により現に下流に被害を与え又は被害を与えるおそれがある、山村振興法に規定する振興山村の区域、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律に規定する特定農山村地域又は過疎地域自立促進特別措置法に規定する過疎地域のうち、次のすべてに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保安林面積がおおむね30ha以上のもの 2 人家5戸以上又は主要公共施設を保護するもの 3 全体計画の工事規模が1,500万円以上のもの 4 地域住民等の森林整備等への参加が見込めるもの 	通常地域 1/2	1/2	-	
	保安林改良	<ol style="list-style-type: none"> 1 林床植生が消滅し、水源かん養機能の低下した保安林であって、表土の流出により濁水を発生させ、又は濁水を発生させるおそれがあり、複層林の造成を行う必要がある箇所 2 立木の過密化による表土の流出その他の水土保持機能の著しい低下により、山地の崩壊又は発生させるおそれがある保安林であって、次の(1)から(4)までのいずれかに被害を及ぼすおそれがあるもの <ul style="list-style-type: none"> (1)市街地又は集落 (2)主要公共施設 (3)農地、ため池、用排水施設等 (4)災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路 3 立木の流木化のおそれのある流域の保安林であって、流木等に起因する災害により、次の(1)から(4)までのいずれかに被害を及ぼし、又は被害を及ぼすおそれがあるもの <ul style="list-style-type: none"> (1)市街地又は集落 (2)主要公共施設 (3)農地、ため池、用排水施設等 (4)災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路 <p style="text-align: right;">年度計画 200万円以上</p>	1/2	1/2	-	

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
水源地域等保安林整備	保安林改良 (複層林型保安林整備推進)	<p>立木の過密化による表土の流出その他の水土保持機能の著しい低下により、山地の崩壊又は土砂、流木等の流出を発生させ、又は発生させるおそれがある保安林であって、複層林への誘導・造成に係る一連の事業を計画的に行う必要がある箇所であり、かつ、次の1から4までのいずれかに被害を及ぼし、又は及ぼすおそれのあるもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市街地又は集落 2 主要公共施設 3 農地、ため池、用排水施設等 4 災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路 <p>年度計画 200万円以上</p>	1/2	1/2	-	
	保育	<p>治山事業施行地を対象とし、その健全な成長を促進させるため、Ⅷ齢級(防災林造成事業施行地にあつてはⅨ齢級)までの林分において下刈、追肥、雪起し、本数調整伐、受光伐、つる切り、枝落し(複層林にあつては上層林の枝落しを含む)、部分補植等を実施するもの</p> <p>ただし、自然条件等から機能が低位であつて、継続して保育を実施する必要がある場合については、Ⅻ齢級(防災林造成事業施行地にあつてはⅩⅢ齢級以下)までを対象</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既往の治山工事施行地 2 水源地域整備事業の対象地域(事業の実施済み及び予定地域を含む)に在する機能が低位な保安林で、水源地域整備事業と一体的に保育を要する箇所 3 治山施設の効果区域内に存する機能が低位な保安林で、既存の治山施設と一体的な保育を必要とする箇所 4 水源かん養機能や土砂流出防止機能が低下した特定保安林であつて表土の流出による濁水、崩壊を発生させ又は濁水・崩壊を発生させるおそれがあり、次のすべての条件を満たすもの <ul style="list-style-type: none"> (1) 特定保安林の対象面積がおおむね50ha以上 (2) 治山事業による保育を必要とする面積がおおむね5ha以上 <p>年度計画 50万円以上</p>	1/3	2/3	-	

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
特定流域総合治山	(山地治山タイプ)	<p>水源のかん養及び山地災害の防止のために行う荒廃山地の復旧整備又は荒廃危険山地の崩壊等の予防であって、周囲の国有林野内で森林管理局長が実施する荒廃山地の復旧整備等と一体的かつ計画的におおむね5年以内で実施するものに係る保安施設事業で次の1及び2の条件を満たし、かつ、3から5までのいずれかの条件を満たすもの</p> <p>1 森林面積がおおむね100ha以上であり、かつ、当該森林のおおむね30%以上が森林法第25条第1項第1号から7号までに掲げる目的のいずれかを達成するための保安林である地域</p> <p>2 国有林野を含む一円の荒廃山地又は荒廃危険地における事業の規模が2億円以上</p> <p>3 1級河川上流</p> <p>4 2級河川上流</p> <p>5 その他の河川又は地区で、次の各号の1に該当</p> <p>(1)市街地又は人家30戸以上の保護</p> <p>(2)主要公共施設の保護</p> <p>(3)農地、ため池、用排水施設、漁場等の保護</p>	通常地域 1/2	1/2	-	
		<p>火山地域 5.5/10</p> <p>4.5/10</p> <p>-</p>				
(森林基盤整備地域のうち治山事業)	予防治山	<p>地域における減災に関する取組と併せて行う水源のかん養及び山地災害の防止のために行う荒廃危険山地の崩壊等を予防する事業であり、次の各号の1から3までのいずれかに該当するもの</p> <p>1 1級河川上流</p> <p>2 2級河川上流</p> <p>3 その他の河川流域又は荒廃危険山地が在する地区で、次の(1)から(4)のいずれかに該当するもの(集落等の保護に係るものについては、山地災害危険地区に指定されており、かつ、山地災害危険地区に関する情報が地域住民に周知されているものに限る)</p> <p>(1)市街地又は集落(人家10戸以上)の保護</p> <p>(2)主要公共施設の保護</p> <p>(3)農地(10ha以上)、ため池、用排水施設、漁場等の保護</p> <p>(4)災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路の保護</p> <p>年間計画 山腹 800万円以上 溪流 1,500万円以上</p>	通常地域 1/2	1/2	-	
			火山地域 5.5/10	4.5/10	-	

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
(森林基盤整備地域の整備交付金事業)	地域防災総合対策	<p>荒廃山地、荒廃危険山地等が在する一定地域において山地災害を未然に防止し、生活環境基盤の整備に資するため緊急に行う総合的な山地災害危険地対策を実施するもの</p> <p>山地災害危険地区が在する一定地域であって、人家等50戸以上の集落に直接被害を与えるおそれのある箇所、全体計画の工事規模が2億円以上のもの</p>	通常地域 1/2	1/2	-	
	機能強化対策 ・老朽化対策	<p>既存の治山施設を有効活用して、山地災害を未然に防止し、生活環境基盤の整備に資するために行う機能強化対策、及び老朽化対策であり次の1及び2の条件を満たすもの</p> <p>1 山地災害危険地区に指定されており、人家10戸以上の集落等に直接被害を与えるおそれのあるもの</p> <p>2 全体計画の工事規模が3千万円以上のもの（山地災害危険地区に関する情報が地域住民に周知されており、同等の機能を有する治山施設の新設に係るコスト比較を行うものに限る</p> <p>老朽化対策のみを実施する場合は次に該当するものとする</p> <p>1・2級河川上流、市街地又は集落（人家10戸以上）、主要公共施設、農地（10ha以上）、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路を保護</p> <p>年度計画 200万円以上</p>	通常地域 1/2	1/2	-	
	山地防災総合対策	<p>山地災害危険地区が複数存在する地域（集落）において、都道府県が市町村や地域住民と協同で減災計画を策定する、総合的な治山対策であり、次の1～3までのいずれかと、4から6までのすべての条件を満たすもの</p> <p>1 市街地又は人家10戸以上の保護</p> <p>2 主要公共施設の保護</p> <p>3 市町村地域防災計画等で指定されている避難場所、避難経路の保護</p> <p>4 3地区以上の山地災害危険地区が在する一定地域で実施</p> <p>5 都道府県が市町村や地域住民等と協働で策定する「山地災害減災計画」に基づき、住民参加型の総合的な警戒避難体制の整備に資するソフト対策を実施するもの</p> <p>6 4で定める区域における年度計画の事業規模が7,000万円以上のもの</p>	通常地域 1/2	1/2	-	
			火山地域 5.5/10	4.5/10	-	
			火山地域 5.5/10	4.5/10	-	
			火山地域 5.5/10	4.5/10	-	

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
(農山漁村全地域の森づくり交付金) 奥地保安林保全緊急対策 ・保安林改良 ・防災林造成		漁場環境が悪化している閉鎖的な湾や入り江等の後背地における森林や河川流域等において、栄養塩類等の供給や濁水の緩和等の漁場環境保全に相当の効果が期待される広葉樹林の造成、間伐等を実施するもの 採択基準は、奥地保安林保全緊急対策及び保安林改良は水源地域等保安林整備の各事業、防災林造成は山地治山総合対策の防災林造成と同じ	(奥地保安林保全緊急対策) 通常地域 1/2 火山地域 5.5/10	1/2 4.5/10	- -	
			(保安林改良・防災林造成) 1/2	1/2	-	
	山林施設災害関連	災害関連緊急治山 1 重要な災害復旧工事に特に先行して施工する必要のあるもの 2 鉄道、道路、主要公共施設、農地、10戸以上の人家等に被害を与えると認められるもの 3 復旧事業が600万円を超えるもの	2/3	1/3	-	
	林地荒廃防止施設災害関連	負担法の規定を受ける林地荒廃防止施設災害復旧事業の施行のみでは、再度災害の防止に十分な効果が期待できないと認められる場合に、これと合併して行う施設の改良で、次の各号に該当するもの 1 全体工事費のうち災害関連工事費の占める割合が原則として5割以下であり、かつ災害関連事業の工事費が800万以上であること 2 他の改良計画がないこと 3 事業効果が大であること	1/2	1/2	-	
県単治山	治山施設整備 (治山施設管理)	県の維持管理に係る既設治山施設が被災し破損したものの補修・補強	-	10/10	-	

事業種別		区分	補助区分	負担区分			備考
				国	県	市町村	
県単治山	治山 災害防止 〔自然災害防止〕		地域防災計画に登載されている危険箇所のうち、県が管理する森林内又は治山施設に隣接して崩壊等が発生、又は発生する恐れがある箇所の復旧及び予防工事で、国庫補助の対象とならないもの	-	10/10	-	
	治山 災害防止 〔小規模治山〕		地域防災計画に登載されている危険箇所のうち、各種災害により崩壊し又は崩壊する恐れのある林地で、その保全上必要な施設の新設又は改良を市町村が行うもので、国庫補助の対象とならないもの 1箇所の工事費 10万円以上	-	5/10	5/10	
	費林 害旧 復災	県単業復	県が管理する治山施設の災害で、早急に復旧する必要がある、国庫補助の対象とならないもの	-	10/10	-	
林道施設災害復旧事業			災害を被った林道施設を速やかに復旧し林業経営の維持安定を図ることを目的とし1カ所の事業費が40万円以上であるもの	65/100 50/100	- -	35/100 50/100	奥地 その他
県単林道			国庫補助林道に該当しない林道の開設、改良、災害復旧事業等を行うことでありそれぞれ下記採択基準に合致するもの 【開設】 1 利用地域面積が20ha以上 2 利用区域の林野率が50%以上のもの 3 路線の全体計画延長の50%以上が林地内を通過するもの 4 幅員が3.0m以上の自動車道及び索道施設 5 事業費が20万円以上のもの 【改良】 1 橋梁にあつては木橋を永久橋に替える 2 路体改良については勾配の修正、曲線の緩和、路体整備の敷砂利等 3 事業費10万円以上のもの	-	50/100	50/100	

(上記のほか、国の負担は、災害が激甚の場合等、高率補助の適用がある。)

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
(森林基盤整備農山漁村地域の域うち整備交付金)	育成林整備事業	森林整備に直結する林内路網を形成する上で、恒久的施設として整備すべき林道の開設（森林管理道）を行うもの 森林管理道については、利用区域内森林面積が50ha以上、全体計画延長が1km以上で、着工後10年以内に、利用区域内森林面積が10haに対し延べ面積で10%以上に相当する森林において森林整備が実施されることが確実であると見込まれたもの	50/100 45/100	12/100 12/100	38/100 43/100	過疎地域及び振興山村地域の場合 その他
	林道改良事業	民有林の林道（自動車道）に架設された木造橋で架設後5年以上を経過し、機能を失っているものを永久橋に架け替えること、及び勾配修正、曲線の緩和、待避所の新設、雪害防止施設の新設、幅員を拡張して、林道の輸送力の向上及び安全確保を図ることを目的とし、局部的構造の改良等を実施するもの	50/100 30/100	8/100 8/100	42/100 62/100	幹線 その他
	林道点検診断・保全整備事業	既設の林道について、トンネルや橋梁等の点検診断、補修及び更新等を実施するもの 1箇所当たり40万円以上、900万円未満（点検診断はこの限りでない）	1/2		1/2	
	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	森林整備の基盤となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備や林業い施設の基盤整備を行うもの 1 森林基幹道 2 林業施設用地整備 3 作業ポイント整備 森林基幹道開設については、利用区域内森林面積が1,000ha以上で全体計画延長が7km以上	50/100	12/100	38/100	
	地方創生整備推進交付金	林道の開設 地域再生基盤強化交付金は地域再生計画に基づき、地域の経済基盤の強化や生活環境の整備などを行うもの 道・汚水処理施設・港の3種類の分野があり、地域再生計画において同一分野で複数の事業計画があるもの 林道整備は、地域森林計画に定める林道の開設又は拡張するもの	50/100 45/100	12/100 12/100	38/100 43/100	過疎・振山 その他

事業種別	区分	補助区分	負担区分			備考
			国	県	市町村	
森林整備事業	林業専用道等整備事業	間伐作業をはじめとする森林施業の用に供し、専ら木材輸送用車両の通行等に供する恒久的施設となる林業専用道の開設を行うもの	50/100	12/100	38/100	過疎・振山
		利用区域内森林面積10ha以上でm全体計画延長が0.2km以上であるもの	45/100	12/100	43/100	その他
	森林環境保全直接支援事業	民有林を対象とした、森林経営計画作成主体等による森林整備	3/10	1/10	-	
	特定森林再生事業	民有林を対象とした、自然条件等の理由で更新が困難な森林における協定締結者等による森林整備	3/10 3/10	2/10 1/10	- -	市町村等 上記以外
合板・製材・集成材国際競争力強化対策事業		総合的なT P P 関連政策大綱に即し、合板・製材工場等に原木を安定的に供給するため、間伐材の生産及び路網整備の一体的な推進を図る事業 (H 2 9 ~) 【令和2年度のメニュー】 1 間伐材生産 2 路網整備 ①林業専用道（規格相当） ②森林作業道 ③林道施設の点検診断 ④航空レーザー計測 3 高性能林業機械等の導入	定額 25,000円/m 2,000円/m 定額 定額 1/2	- - - - -	- - - - -	市町村 県
林業・木材産業成長産業化促進対策交付金		路網整備・機械導入、主伐・再造林の一貫作業の推進、川下との連携強化など川上から川下までの取組みを総合的に支援する事業 (H 3 0 ~) 【令和3年度のメニュー】 1 資源高度利用型施業 2 間伐材生産 2 路網整備・機能強化対策 ①林業専用道（規格相当） ②森林作業道 ②林道施設の機能強化対策 3 コンテナ苗生産基盤施設整備	定額 25,000円/m 2,000円/m 1/2 1/2	- - - - -	- - 1/2 -	市町村
森林整備地域活動支援交付金事業		森林所有者等が行う森林施業の提案・集約化に必要な地域活動を支援する事業 【令和元年度のメニュー】 1 森林経営計画作成促進 2 施業集約化の促進 3 森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた条件整備 4 意向調査の事前準備推進	1/2 1/2 1/2 1/2	1/4 1/4 1/4 1/4	1/4 1/4 1/4 1/4	

(2) 林業功労者の表彰

ア 叙勲受章者

受章年次	氏名	年令	住所	業 績	種類	備考
41 秋	阿部誠一郎	78	五所川原市	林業の振興、治安維持	旭 五	
42	阿部真之介	70	八 戸 市	林産業および薪炭業の振興	旭 五	死亡叙勲
42 秋	菊池 順治	73	川 内 町	林業普及改良及び共同販売体系の確立	旭 六	
43 秋	斎藤勇太郎	76	中 里 町	林野の管理経営	瑞 六	
44 春	本間八三郎	72	鱒ヶ沢町	林業の振興	瑞 五	
44 秋	佐々木太郎	71	碓ヶ関村	森林復興事業の遂行、林業経営及び技術指導	瑞 五	
47 春	小館 貞一	70	青 森 市	製材業の振興	瑞 五	
47	宮 宏	67	五 戸 町	林業団体役員（県森連会長）	瑞 五	死亡叙勲
47 秋	菊谷 久造	72	青 森 市	林業団体の組織強化、林業後継者の育成	旭 六	
47	神馬 健造	71	青 森 市	森林復興事業の遂行、林業界の再建	瑞 五	死亡叙勲
48 春	清沢芳太郎	74	三 戸 町	林業経営及び育林技術指導	瑞 五	
48 春	橋本 正武	74	青 森 市	農林行政事務功労（秋田営林局長）	旭 四	
49 春	岩崎利三郎	79	百 石 町	保安林造成及び保護管理	旭 七	
50 春	杉田 則敏	72	藤 崎 町	木材市場の拡大	瑞 五	死亡叙勲
51	林 清英	61	弘 前 市	農林行政事務功労（農林事務所長）	瑞 五	死亡叙勲
51 春	菊池権三郎	73	大 鰯 町	林業経営及び育林技術指導	瑞 五	
53	久慈儀三郎	71	青 森 市	製材業の振興	瑞 五	死亡叙勲
54 秋	大橋 忠雄	72	金 木 町	製材業の振興	瑞 五	
56 秋	平山文三郎	73	五所川原市	森林復興事業、林業経営及び技術指導	瑞 五	
58	長内栄之進	76	青 森 市	林業の振興、地方自治	瑞 五	死亡叙勲
58 秋	三上 治郎	80	西 目 屋 村	林業の振興	瑞 五	
58 秋	吉田松次郎	85	八 戸 市	海岸防災林の造成	七青色	
59 秋	石下 春雄	75	む つ 市	林業の振興、林業後継者の養成、きのこ生産推進	瑞 五	
60 春	豊山 千蔭	71	八 戸 市	林業の振興	瑞 五	
60	前田 武彦	67	大 鰯 町	製材業の振興	瑞 五	死亡叙勲
60	山本 仁一	70	深 浦 町	製材業の振興	瑞 五	死亡叙勲
61 春	荒関 通義	73	金 木 町	製材業の振興	瑞 五	
61	葛西 良一	69	中 里 町	製材業の振興	瑞 五	死亡叙勲
62 春	村瀬 彦一	77	大 畑 町	製材業の振興	瑞 五	

受章年次	氏名	年令	住所	業 績	種類	備考
63	川口 英志	65	青 森 市	林業行政、地方自治	旭 五	死亡叙勲
63 秋	角本 武雄	72	東 通 村	保安林の造成及び県営林の管理	瑞 七	
元 秋	石谷 貞夫	80	東 通 村	林業の振興	旭 六	
2 秋	石田 雄三	70	東 通 村	林業の振興	旭 五	
3 春	工藤 幸作	78	青 森 市	林業の振興	瑞 五	
5 秋	石岡 清雄	69	弘 前 市	林業の振興	瑞 七	
6 秋	中島 貞市	72	脇 野 沢 村	林業の振興	瑞 四	
8 秋	福山 武雄	73	南 部 町	製材業の振興	瑞 五	
10 秋	中川原啓介	71	五 戸 町	林業の振興	瑞 五	
11 春	滝沢久之進	77	南 郷 村	林業の振興	瑞 五	
12	藤田 俊雄	61	青 森 市	林業行政	瑞 五	死亡叙勲
12	藤田 純一	70	青 森 市	林業行政	瑞 五	死亡叙勲
15 春	勝山 重雄	76	倉 石 村	林業の振興	旭 六	
15 秋	大西 良吉	70	八 戸 市	林業の振興	旭 単	
18 春	清水 信造	74	蓬 田 村	林業の振興	旭 双	
18 秋	駒井 満夫	74	青 森 市	林業の振興	旭 小	
20 春	杉山 博利	75	む つ 市	林業の振興	旭 双	
21 春	本間 家大	71	鱒ヶ沢町	林業の振興	旭 小	
21	神 剛	65	青 森 市	林業の振興	瑞 双	死亡叙勲
22 秋	石ヶ守 勲	85	新 郷 村	林業の振興	旭 単	
23 春	小笠原恭裕	75	十 和 田 市	林業の振興	旭 小	
26	小笠原隆一	84	青 森 市	林業の振興	瑞 双	死亡叙勲
28	長谷川文男	80	青 森 市	林業の振興	瑞 双	死亡叙勲
28	中野 彬	79	青 森 市	林業の振興	瑞 双	死亡叙勲

イ 褒賞受章者

受章年次	氏名	年令	住所	業 績	種類	備考
34 春	太田吉之介	81	十和田湖町	林業の振興と観光の開発	黄 綬	
35 春	盛田 達三	68	七 戸 町	造林技術の研究と普及	黄 綬	
35 秋	志賀 治助	85	三 戸 町	林業の振興	黄 綬	
37 春	阿部誠一郎	75	五所川原市	林業の振興、治安維持	黄 綬	
39 秋	阿部真之介	68	八 戸 市	製炭改良技術の研究と普及	黄 綬	
40 秋	菊池 順治	71	川 内 町	林業普及改良及び共同販売体系の確立	黄 綬	
41 春	菊池権三郎	63	大 鱒 町	林業経営及び育林技術指導	黄 綬	
42 春	杉田 則敏	64	藤 崎 町	木材市場の拡大	黄 綬	

受章年次	氏名	年令	住所	業 績	種類	備考
45 春	北山 靖逸	80	平 賀 町	森林資源の保護管理	黄 綬	
45 秋	神馬 健造	68	青 森 市	森林復興事業の遂行、林業界の 再建	黄 綬	
47 春	久慈儀三郎	62	蟹 田 町	製材業の振興	黄 綬	
47 秋	工藤己之吉	63	青 森 市	森林資源の保護管理	黄 綬	
51 春	平山文三郎	67	五所川原市	森林復興事業の遂行、林業経営 及び技術指導	黄 綬	
58 春	吉岡市五郎	74	浪 岡 町	森林復興事業、森林組合の育成	黄 綬	
3 秋	中川原啓介	64	五 戸 町	林業の振興	黄 綬	
10 秋	松下功一朗	65	弘 前 市	林業土木の振興	藍 綬	
13 秋	本間 家大	63	鱒ヶ沢町	林業の振興	黄 綬	
30 春	山本 一雄	80	田 子 町	林業の振興	黄 綬	
元 秋	佐賀平一郎	80	風 間 浦 村	林業の振興	黄 綬	

ウ 青森県褒賞受章者（規則第2条第1項10号）

受章年次	氏名	年令	住所	業 績	備考
34	池田福次郎	67	田 子 町	製炭改良	
34	盛田 達三	67	七 戸 町	造林技術の研究と普及	
34	太田吉之助	81	十和田湖町	林業の振興と観光の開発	
35	志賀 治助	85	三 戸 町	林業の振興	
37	阿部誠一郎	75	五所川原市	林業の振興、治安維持	
37	菊池権三郎	60	大 鱒 町	林業経営及び育林技術指導	
38	菊池 順治	68	川 内 町	林業普及改良及び共同販売体系の確立	
38	阿部真之介	66	八 戸 市	製炭改良技術の研究と普及	
41	杉田 則敏	63	藤 崎 町	木材市場の拡大	
43	本間八三郎	71	鱒ヶ沢町	林業の振興	
44	神馬 健造	67	青 森 市	森林復興事業、林業界の再建	
45	北山 清逸	80	平 賀 町	森林資源の保護管理	
45	小舘 貞一	68	青 森 市	製材業の振興	
48	岩崎利三郎	79	百 石 町	保安林造成及び保護管理	
53	大橋 忠雄	72	金 木 町	製材業の振興	
55	工藤 幸作	67	青 森 市	優良種苗の生産及び後継者の育成指導	
56	石下 春雄	72	む つ 市	特用林産物生産の推進、林業後継者の育 成	
56	吉田松次郎	83	八 戸 市	保安林造成及び保護管理	規則第2条5号
57	高橋 三郎	81	六ヶ所村	海岸防災林	
58	豊山 千蔭	69	八 戸 市	林業者普及改良	
59	石田 雄三	64	東 通 村	拡大造林の推進	

受章年次	氏名	年令	住所	業 績	備考
59	角本 武雄	66	東 通 村	海岸飛砂防止保安林造成と保護管理	
60	村瀬 彦一	76	大 畑 町	林業の振興	
62	佐藤 久司	64	平 内 町	林業の振興	
2	中川原啓介	63	五 戸 町	林業の振興	
2	石岡 清雄	66	弘 前 市	県営林の保全・管理・育成	
5	石川 健一	76	青 森 市	集成材事業関連団体の育成	
6	福山 武雄	71	南 部 町	製材業の振興	
7	内藤 輝彦	74	八 戸 市	林業の振興	
8	松下功一朗	63	弘 前 市	林業土木の振興	
14	小笠原恭裕	66	十和田湖町	林業の振興	
15	清水 信造	71	蓬 田 村	製材業の振興	
16	柴田 円治	71	大 畑 町	ヒバ施業実験林の維持管理作業精励	
21	松尾 彰平	63	三 戸 町	林業の振興	
26	山田 輝美	76	青 森 市	林業の振興	

工 全国林業経営推奨行事受賞者

開催回	年 度	受 賞 賞	氏 名	住 所	備 考
第3回	昭和39年	農林大臣賞	盛 田 達 三	七 戸 町	
4	40	林野庁長官賞	田 中 敬 二	福 地 村	
5	41	林野庁長官賞	山 田 丹十郎	大 鰯 町	
6	42	農林大臣賞	三 上 治 郎	西 目 屋 村	
7	43	山林会長賞	工 藤 岩太郎	平 内 町	
8	44	林野庁長官賞	立 崎 竜 一	十 和 田 市	
9	45	全林協会長賞	浜 谷 重次郎	深 浦 町	
10	46	山林会長賞	田 中 吉兵衛	蓬 田 村	
11	47	全林協会長賞	山 谷 長 平	大 鰯 町	
12	48	山林会長賞	中川原 啓 介	五 戸 町	
13	49	全林協会長賞	山 田 弘	大 鰯 町	
15	51	全林協会長賞	山 陰 千代志	田 子 町	
24	60	山林会長賞	福 士 孝 衛	七 戸 町	
25	61	林野庁長官賞	野沼寺生産森林組合	七 戸 町	
27	63	全林協会長賞	柴 田 康 雄	碓 ヶ 関 村	
31	平成4年	全林協会長賞	沼 沢 源 幸	倉 石 村	
34	7	山林会長賞	宮 一 雄	五 戸 町	
36	9	山林会長賞	柴 田 康 雄	碓 ヶ 関 村	

開催回	年 度	受 賞 賞	氏 名	住 所	備 考
3 8	1 1	山林会長賞	山 本 一 雄	田 子 町	
4 4	1 7	農林水産大臣賞	田 中 裕	福 地 村	
4 5	1 8	林野庁長官賞	一 戸 一 剛	鱒ヶ沢町	
4 6	1 9	山林会長賞	小笠原 義 一	青 森 市	
4 7	2 0	農林水産大臣賞	佐 賀 平一郎	風 間 浦 村	
4 9	2 2	林野庁長官賞	藤 沢 圭	三 戸 町	
5 0	2 3	林野庁長官賞	橋 本 春 治	む つ 市	
5 2	2 5	林野庁長官賞	正部家 佑 介	階 上 町	
5 3	2 6	林野庁長官賞	福 士 孝 衛	七 戸 町	
5 4	2 7	農林水産大臣賞	山 本 一 雄	田 子 町	
5 5	2 8	林野庁長官賞	砂子又生産森林組合	東 通 村	
5 6	2 9	林野庁長官賞	石ヶ守 勲	新 郷 村	
5 8	令和 元年	農林水産大臣賞	桑 原 一 夫	階 上 町	
6 0	3	林野庁長官賞	赤 澤 榮 治	八 戸 市	

※注 山林会長賞 : 社団法人 大日本山林会会長賞の略
全林研会長賞 : 社団法人 全国林業改良普及協会会長賞の略

(3) 緑化功労者の表彰

ア 国緑化功労者受賞者

受賞年度	氏名	出身地	備考
昭和 56 年	石 田 雄 三	東 通 村	国土緑化推進機構理事長感謝状
57	宇 藤 堅 太 郎	田 子 町	農林水産大臣感謝状
58	東 秀 美	新 郷 村	国土緑化推進機構理事長感謝状
59	小 野 藤 男	三 戸 町	国土緑化推進機構理事長感謝状
60	津 川 己 之 作	浪 岡 町	国土緑化推進機構理事長感謝状
61	工 藤 幸 作	青 森 市	国土緑化推進機構理事長感謝状
62	石 橋 健 二	三 沢 市	林野庁長官賞
63	船 橋 祐 太 郎	平 内 町	農林水産大臣賞
平成 3 年	石 岡 清 雄	弘 前 市	林野庁長官賞
4	千 田 富 次 郎	深 浦 町	国土緑化推進機構会長賞
5	七 戸 善 一	岩 崎 村	国土緑化推進機構会長賞
6	柳 田 光 彌	田 子 町	林野庁長官賞
7	山 口 國 雄	大 鰐 町	国土緑化推進機構理事長賞
8	中 川 原 啓 介	五 戸 町	国土緑化推進機構会長賞
9	池 田 弘	青 森 市	林野庁長官賞
10	石 川 健 一	青 森 市	国土緑化推進機構会長賞
11	工 藤 宝 三	青 森 市	国土緑化推進機構理事長賞
12	小 笠 原 隆 一	青 森 市	国土緑化推進機構理事長賞
13	種 澤 武 美	相 馬 村	農林水産大臣賞
14	石 戸 谷 忠 夫	青 森 市	国土緑化推進機構会長賞
15	石 野 喜 代 巳	む つ 市	国土緑化推進機構理事長賞
16	白 濱 匡 章	む つ 市	国土緑化推進機構理事長賞
17	新 岡 義 吉	つ が る 市	農林水産大臣賞
19	木 村 忠 博	青 森 市	国土緑化推進機構理事長賞
20	斎 藤 嘉 次 雄	青 森 市	林野庁長官賞
21	楠 美 夕 ヒ	青 森 市	農林水産大臣賞
22	森 小 静 子	む つ 市	国土緑化推進機構理事長賞
23	相 馬 弘 子	青 森 市	林野庁長官賞

受賞年度	氏名	出身地	備考
平成 24 年	山 田 輝 美	青 森 市	林野庁長官賞
25	宮 崎 三 男	青 森 市	国土緑化推進機構理事長賞
26	向 井 麗 子	平 内 町	国土緑化推進機構理事長賞
27	千 葉 多 兵 衛	青 森 市	林野庁長官賞
29	田 中 直 喜	おいらせ町	林野庁長官賞
30	濱 田 栄 子	む つ 市	国土緑化推進機構会長賞
令和元年	高 田 武 志	七 戸 町	林野庁長官賞
2	野 宮 正 宣	青 森 市	林野庁長官賞

イ 東北・北海道ブロック緑化功労者受賞者

受賞年度	氏名	出身地	備考
昭和 56 年	成 田 平八郎	十 和 田 市	受賞者全員に、国土緑化推進機構理事長賞及び東北・北海道地区緑化推進協議会会長賞が授与されている。
57	三 浦 文四郎	弘 前 市	
58	榊 正 寛	青 森 市	
59	金 沢 栄次郎	青 森 市	
60	岩 田 柁 吉	五所川原市	
61	佐 藤 久 司	平 内 町	
62	石 岡 清 雄	弘 前 市	
63	池 田 直 武	青 森 市	
平成元年	一 戸 昭三郎	鱒ヶ沢町	
3	新 岡 義 吉	木 造 町	
4	柳 田 光 彌	田 子 町	
5	赤 田 行 男	青 森 市	
6	野 呂 喜代志	青 森 市	
7	鹿 内 勉	青 森 市	
8	日 向 堅之助	新 郷 村	
9	滝 沢 久之進	南 郷 村	
10	工 藤 兼 作	鱒ヶ沢町	

受賞年度	氏名	出身地	備考
平成 11 年	佐 藤 正 五 郎	青 森 市	受賞者全員に、国土緑化推進機構理事長賞及び東北・北海道地区緑化推進協議会会長賞が授与されている。
12	川 端 瞳	大 畑 町	
13	角 濱 義 明	八 戸 市	
14	坪 藤 次 郎	天 間 林 村	
15	白 濱 匡 章	む つ 市	
16	小 山 万 吉	深 浦 町	
17	小 笠 原 義 一	青 森 市	
18	津 川 力	黒 石 市	
19	小 田 桐 修 治	平 川 市	
20	奥 島 吉 三 郎	む つ 市	
21	佐 藤 正 治	深 浦 町	
22	宮 崎 三 男	青 森 市	
23	千 葉 多 兵 衛	青 森 市	
24	高 村 俊 廣	青 森 市	
25	川 上 義 吉	東 通 村	
26	長 内 幸 子	大 鰯 町	
27	田 中 直 喜	おいらせ町	
28	濱 田 栄 子	む つ 市	
29	高 田 武 志	七 戸 町	
30	向 山 進	八 戸 市	
令和元年	野 宮 正 宣	青 森 市	

ウ 青森県緑化功労者受賞者

受賞年度	氏名	出身地	受賞年度	氏名	出身地
昭和56年	柴田庄一 石岡清雄 葛西清三郎 小沼清次郎 成田平八郎 浜田伊太郎 東秀美	平内町 弘前市 中里町 鯨ヶ沢町 十和田市 川内町 新郷村	昭和57年	沢目武志 柳田光弥 東出昇勇 伊藤勇 伊藤鉄男 石岡久友 清野鈴次郎	十和田市 田子町 佐井村 三厩村 弘前市 五所川原市 鯨ヶ沢町
58	千葉藤次郎 川上末蔵 上野卓 榊正寛 山田千蔵 斎藤秀敏 新岡義吉	新郷村 東通村 東北町 青森市 浪岡町 鶴田町 木造町	59	石川清 小松嘉雄 山谷直正 鹿内清吉 桑田豊作 小林儀三郎 千田富次郎	階上町 むつ市 七戸町 青森市 西目屋村 五所川原市 深浦町
60	掛端勝男 木村幸一 中野渡伊佐雄 千代和芳 渡辺信雄 古川政市 吉田覚三	名川町 脇野沢村 十和田市 平内町 大鰐町 中里町 岩崎村	61	山本孝一郎 畑山常男 下川原太郎 三浦仁太郎 佐藤吉郎 三浦兼四 田中稔	田子町 大畑町 十和田湖町 平内町 黒石市 市浦村・相野 第三町会 鯨ヶ沢町
62	岡田茂利 杉山博夫 長谷川房太郎 船橋市太郎 種沢秋夫 三浦正吉 松橋勇吉	新郷村 むつ市 三沢市 平内町 相馬村 五所川原市 車力村	63	赤牛末治 服部勝治 畑中又蔵 佐井久治 加賀谷良繼 赤石才松 三浦兼一	八戸市 六ヶ所村 東通村 蓬田町 深浦町 鶴田町 賀賀町
平成元年	畑山定雄 野坂和一 松本七英 小泉才助 松館兼五郎 七戸善一 一野渡生産森林組合	倉石村 横浜町 川内町 青森市 中里町 岩崎村 弘前市	平成2年	木村仁三郎 住吉亀吉 佐賀平一郎 三浦仁太郎 木立民五郎 世永勝則 柴田康雄	八戸市 野辺地町 風間浦村 平内町 金木町 鯨ヶ沢町 碓ヶ関村
3	中村正美 掛端龍二 母良田房太郎 品川繁治 大柳徳昭 山谷長平 青木宏松	中里町 名川町 十和田市 むつ市 青森市 大深浦町	4	宮本義雄 奥谷俊栄 新谷武一 中嶋文蔵 七戸三郎 畠山直武 浦田久佐雄	むつ市 青森市 五所川原市 平賀町 岩崎村 新郷村 七戸町

受賞年度	氏名	出身地	受賞年度	氏名	出身地
平成5年	相馬良次郎 工藤朋一 野呂喜代志 橋場重計 市野渡石太郎 長内貞三 田中長蔵	青森市 鯨ヶ沢町 川内町 南郷村 天間林村 西目屋村 金木町	平成6年	山谷直正 渡部和雄 谷川敏一 高宮豊男 竹村三男 土井昭三 伊東邦夫	七戸町 青森市 平賀町 倉石村 五所川原市 風間浦村 深浦町
7	石岡長一 鹿内勉 長塚米春 伊藤博 中野渡金四郎 石野喜代巳 斎藤健一	弘前市 青森市 福地村 五所川原市 十和田市 むつ市 岩崎村	8	佐藤悦郎 佐々木重雄 山中国太郎 大坂一郎 中村隆 渡辺義栄	鯨ヶ沢町 平内町 大鱒町 五所川原市 東北町 むつ市
9	中田忍 川村繁光 吉岡博昭 角田正男 松館栄七 佐々木原榮	階上町 青森市 浪岡町 金木町 三沢市 岩崎村	10	中西村佐吉 寺谷元伸 成尾静子 川田金夫 工端瞳兼作	六ヶ所村 尾上町 三里町 中大畑町 鯨ヶ沢町
11	泉谷忠栄 勝山重雄 岩木政次郎 石野雄五	岩崎村 倉石湖町 十和田市 むつ市	12	長男慶治 二本柳伸勇 福間仁徳 山元	三戸町 川内市 黒石市 深浦町
13	常田菊一 奥島勝義 赤田行男 原田元雄	浪岡町 むつ市 青森市 森田村	14	相馬弘子 鹿糖稔 住吉勲 坂本勇昭	青森市 階上町 東通浦村 深浦町
15	八戸市を緑にする会 蛭名為雄 木野目九二夫 白濱匡章 鶴田港	八戸市 平内市 横浜市 むつ市 鯨ヶ沢町	16	竹内義美 八戸エコ・サイクル協議会 斉藤清光 清水喜代利 小山万吉	平内町 八戸市 五所川原市 三沢市 深浦町
17	小笠原義一 海老名智教 福地さくらの会 岡村誠一 森小静子 中村平治	青森市 青森市 福地村 七戸町 むつ市 鯨ヶ沢町	18	津川力 和田誠 柴崎準次 八木橋洋一郎	黒石市 三戸町 野辺地町 むつ市

受賞年度	氏名	出身地	受賞年度	氏名	出身地
平成19年	高坂保三 小田桐修治 清水由紀夫 坪勝章 小林義一 杉本文雄	青森市 平川市 田子町 十和田市 五所川原市 東通村	平成20年	船橋輝行 村上トミ 新谷悦男 新村上嘉永 奥島吉三郎	平内町 新郷村 五所川原市 黒石市 むつ市
21	工藤英精 戸田由美子 佐藤正治 高橋七郎 尻屋土地保全会	平内町 五戸町 深浦町 十和田市 東通村	22	宮崎三男 澤光雄夫 福山武悦 石岡久均 高西均 城ヶ沢生産森林組合	青森市 大鰯町 新郷村 五所川原市 七戸町 むつ市
23	千葉多兵衛 工藤昭二 豊沢達雄 蛭澤精一 三余一会	青森市 弘前市 鱒ヶ沢町 東北町 東通村	24	高村俊廣 白戸貞一 川上義吉	青森市 青森市 平川通 東通村
25	長谷川満春 櫛引恒久	青森市 むつ市	26	長内幸子 杉本八十三	大鰯町 東通村
27	田中直喜 杉本文悦 角谷千恵子	おいらせ町 東通村 深浦町	28	濱田栄子 山田泰弘 阿部泰誠	むつ市 大鰯町 深浦町
29	辻村庄吉 高橋暎稔 鹿糠田武志 高澤田春美	平内町 黒石市 階上町 七戸町 東通村	30	蝦名峯明 奈良岡文治 向山進	青森市 青森市 藤崎町 八戸市
令和元年	川代光納 東海林政美 野宮正宣	新郷村 深浦町 青森市	令和2年	奈良岡隆樹 西塚一雄	青森市 三戸市

※ 受賞者には青森県緑化推進委員会会長賞が授与されている。

(4) 林業関係団体

名 称	所 在 地	代表者名	電話 (FAX)
公益社団法人青森県林業会議 (青森県林業労働力確保支援センター)	林業会議 青森市松原一丁目 16-25 青森県森林組合会館内 林業アカデミー 東津軽郡平内町大字小湊字新道 46-56 県産業技術センター 林業研究所研修棟	吉田 豊	林業会議 017-722-5482 (773-8788) 林業アカデミー 017-763-4022 (764-6239)
一般社団法人青森県林業協会	青森市大字高田字川瀬 104-1	本間 家大	017-739-8761 (739-8749)
青森県森林組合連合会	青森市松原一丁目 16-25 青森県森林組合会館内	本間 家大	017-723-2657 (723-1505)
青森県木材協同組合	青森市大字高田字川瀬 104-1	齋藤 涉	017-739-8761 (739-8749)
青森県森林整備事業協同組合	青森市駒込字桐ノ沢 129-1	川崎 幸宏	017-743-5411 (743-5410)
青森県国有林材生産協同組合	青森市大字平新田字森越 12-28	坪 晃	017-726-6305 (718-5012)
林業・木材製造業労働災害防止協会 青森県支部	青森市大字高田字川瀬 104-1	齋藤 涉	017-739-8761 (739-8749)
地方独立行政法人青森県産業技術 センター林業研究所	東津軽郡平内町大字小湊字新町 46-56	木村 公樹	017-755-3257 (755-4494)
国立研究開発法人森林研究・整備機 構森林整備センター 青森水源林整備事務所	青森市長島二丁目 10-4 ヤマウビル 9 階	菅原 教夫	017-777-5189 (777-5192)
青森県水源林造林協議会	青森市長島二丁目 10-4	浜谷 豊美	017-777-5189
公益社団法人青森県緑化推進委員会	青森市松原一丁目 16-25 青森県森林組合会館内	本間 家大	017-773-8787 (773-8788)
一般社団法人 青森県林業コンサルタント	青森市本町二丁目 6-19 青森県土地改良会館 1 階	本間 家大	017-722-6797 (722-6786)
青森県治山林道協会	青森市長島二丁目 10-4 ヤマウビル 6 階	吉田 満	017-777-3648 (777-3658)
青森県治山システム協会	青森市長島二丁目 10-4 ヤマウビル 6 階	山田 幸一	017-777-3648 (777-3658)
青森県山林種苗協同組合	青森市柳川二丁目 3-35 緑友会館 2 階	木村 重成	017-766-6430 (766-6430)

名 称	所 在 地	代表者名	電話 (FAX)
一般財団法人日本森林林業振興会 青森支部	青森市柳川二丁目 3-35 緑友会館 1F	崎野 健輔	017-766-4977 (781-1509)
青森県きのこ生産推進協議会	青森市松原一丁目 16-25 青森県森林組合会館内	赤石 継美	017-723-2657 (723-1505)
青森県木炭協会	北津軽郡中泊町大字中里字亀山 602	佐々木嘉幸	0173-57-9003 (57-2833)
青森県漆器協同組合連合会	弘前市神田二丁目 4-9	石岡 健一	0172-35-3629 (35-3629)
青森県木材利用推進協議会	青森市大字高田字川瀬 104-1	駒井 修一	017-739-8761 (739-8749)
青森県木材クラブ	青森市大字高田字川瀬 104-1	盛 隆吾	017-739-8761 (739-8749)
青森県木工業組合連合会	弘前市千年 4-3-17 (木村木品製作 所内)	木村 崇之	0172-87-2747 (87-2542)
青森県林業改良普及協会	青森市松原一丁目 16-25 青森県森林組合会館内	桑原 一夫	017-722-5482 (773-8788)
青森県林業研究グループ連絡協議会	三戸郡五戸町大字浅水字陣場 92-2 三八地方森林組合 本所内	中澤 隆浩	0178-67-2003 (61-8639)
青森県グリーンマイスター協議会	青森市松原一丁目 16-25 青森県森林組合会館内	下久保 仁志	017-723-2657 (723-1505)
青森県緑の少幼年団連盟	青森市松原一丁目 16-25 青森県森林組合会館内	ヒキアサキ緑の 少年団育成会	017-773-8787 (773-8788)

(5) 青森県森林審議会

委 員	役 職 名
伊 藤 幸 男	国立大学法人岩手大学 准教授
大 山 慎 司	株式会社大山建工 代表取締役社長
今 亜 由 子	こん機工（伐採業）
齋 藤 涉	青森県木材協同組合 理事長
下 久 保 仁 志	有限会社下久保林業 専務取締役
高 樋 忍	有限会社クレイドル 代表取締役
坪 栄 子	伐木造材作業 講師
二 本 柳 玲 子	AMLS（アムレス）協議会 会長
船 橋 茂 久	青森県町村会 会長
本 間 家 大	青森県森林組合連合会 代表理事会長
村 上 卓 也	東北森林管理局青森森林管理署 署長
吉 田 豊	公益社団法人青森県林業会議 会長

※ 五十音順

※ 委嘱期間：令和2年12月13日～令和4年12月12日

(6) 林業行政歴代課長

ア 林務課・林政課歴代課長

序	課名	課長氏名	就任期間	摘要
1	林務課長	岩本慶之丞	昭和14. 8. 15～15. 7. 1	農務課より分離新設
2	〃	清水 敬一	15. 7. 1～19. 3. 1	
3	〃	荒木 正重	19. 3. 1～22. 4. 18	
4	〃	平井 修造	22. 4. 19～29. 9. 15	
5	〃	丸山 慶造	29. 9. 16～31. 3. 31	
6	〃	松形 祐堯	31. 4. 1～34. 6. 30	
7	〃	孕石 正久	34. 7. 1～37. 3. 31	
8	〃	下平 仁	37. 4. 1～39. 8. 31	
9	〃	滝本 睦夫	39. 9. 1～42. 3. 31	
10	〃	杉村 敬一	42. 4. 1～43. 8. 15	
11	〃	荒川 文夫	43. 8. 16～46. 11. 30	
12	〃	今 寛人	46. 12. 1～48. 3. 31	
◎組織替により2課に分離し改称される				
13	林政課長	今 寛人	48. 4. 1～52. 3. 31	
14	〃	佐々木光三	52. 4. 1～54. 3. 31	
15	〃	川合 昭	54. 4. 1～56. 3. 31	
16	参事・林政課長事務取扱	鶴賀 泰美	56. 4. 1～60. 3. 31	
17	〃	松田富士雄	60. 4. 1～元. 3. 31	62. 4. 1より参事
18	林政課長	小笠原隆一	平成元. 4. 1～ 2. 3. 31	
19	参事・林政課長事務取扱	須藤 清衛	2. 4. 1～ 6. 3. 31	5. 4. 1より参事
20	〃	中野 彬	6. 4. 1～ 8. 3. 31	6. 4. 1より参事
21	〃	附田 守弘	8. 4. 1～10. 3. 31	8. 4. 1より参事
22	〃	辻 敏雄	10. 4. 1～11. 3. 31	10. 4. 1より参事
23	林政課長	納谷 敏夫	11. 4. 1～13. 3. 31	
24	〃	小林 雅彦	13. 4. 1～14. 3. 31	14. 4. 1～16. 3. 31 西地方農林水産事務所長
25	参事・林政課長事務取扱	北澤 隆敏	14. 4. 1～16. 3. 31	
26	参事・林政課長事務取扱	野宮 正宣	16. 4. 1～18. 3. 31	
27	林政課長	清水 裕治	18. 4. 1～21. 3. 31	
28	〃	樋口 浩文	21. 4. 1～22. 3. 31	22. 4. 1～ 農林水産政策課長 23. 4. 1～ 農林水産部次長 24. 4. 1～25. 3. 31 農商工連携推進監

序	課名	課長氏名	就任期間	摘要
29	林政課長	村川 博輝	22. 4. 1～23. 3. 31	
30	〃	野呂 公	23. 4. 1～26. 3. 31	26. 4. 1～27. 3. 31 青森県営農大学校長
31	〃	一戸 文爾	26. 4. 1～29. 3. 31	29. 4. 1～30. 3. 31 上北地域県民局地域農林水産部長
32	〃	杉山 徹	29. 4. 1～31. 3. 31	31. 4. 1～令和 2. 3. 31 上北地域県民局地域農林水産部長
33	〃	比内 一道	31. 4. 1～R3. 3. 31	R3. 4. 1～ 青森県営農大学校長
34	〃	及川 正顕	R3. 4. 1～	

イ 治山課・森林保全課歴代課長

序	職名	課長氏名	就任期間	摘要
1	治山課長	川口 英志	昭和48. 4. 1～51. 3. 31	林務課より分離新設
2	〃	佐々木光三	51. 4. 1～52. 3. 31	
3	〃	川合 昭	52. 4. 1～54. 3. 31	
4	〃	鶴賀 泰美	54. 4. 1～56. 3. 31	
5	〃	三上 四郎	56. 4. 1～58. 3. 31	
6	〃	北嶋 祐二	58. 4. 1～60. 3. 31	
7	〃	藤田 純一	60. 4. 1～62. 3. 31	
8	〃	小笠原隆一	62. 4. 1～元. 3. 31	
9	〃	須藤 清衛	平成元. 4. 1～ 2. 3. 31	
10	〃	長谷川文男	2. 4. 1～ 4. 3. 31	
11	〃	中野 彬	4. 4. 1～ 6. 3. 31	
12	〃	島 陸奥男	6. 4. 1～ 8. 3. 31	
13	〃	三上 昇	8. 4. 1～ 9. 3. 31	
14	〃	熊谷 宏	9. 4. 1～12. 3. 31	
15	森林保全課長	熊谷 宏	12. 4. 1～13. 3. 31	12. 4. 1 課名変更 13. 4. 1～14. 3. 31 西地方農林水産事務所長

※平成 13 年 4 月 1 日林政課に統合

ウ 林業試験場歴代場長

序	職名	場長氏名	就任期間	摘要
1	林業試験場長（兼務）	孕石 正久	昭和36. 12. 15～37. 3. 31	（林務課長）
2	林業試験場長	瀬尾 義行	37. 4. 1～45. 3. 31	
3	〃	藤田 俊雄	45. 4. 1～52. 3. 31	
4	参事・事務取扱（林業試験場長）	荒川 文夫	52. 4. 1～53. 3. 31	
5	〃	川口 英志	53. 4. 1～56. 3. 31	
6	〃	川合 昭	56. 4. 1～60. 3. 31	
7	〃	北嶋 祐二	60. 4. 1～62. 3. 31	

序	職名	場長氏名	就任期間	摘要
8	林業試験場長	岩淵 松年	62. 4. 1～63. 3. 31	
9	〃	藤田 純一	63. 4. 1～元. 3. 31	
10	〃	松田富士雄	平成元. 4. 1～ 2. 3. 31	
11	〃	中野 彬	2. 4. 1～ 4. 3. 31	
12	〃	今野 満男	4. 4. 1～ 5. 3. 31	
13	〃	島 陸奥男	5. 4. 1～ 6. 3. 31	
14	〃	若原 壽明	6. 4. 1～10. 3. 31	
15	〃	神 真一	10. 4. 1～13. 3. 31	
16	〃	木下 公敬	13. 4. 1～15. 3. 31	
17	〃	神 剛	15. 4. 1～17. 3. 31	
18	〃	富岡 司	17. 4. 1～18. 3. 31	
19	〃	寺田 喜代一	18. 4. 1～20. 3. 31	
20	〃	内山 一	20. 4. 1～21. 3. 31	

※平成 21 年 4 月 1 日から地方独立行政法人青森県産業技術センター林業研究所となる

エ 地方独立行政法人青森県産業技術センター林業研究所

序	職名	所長氏名	就任期間	摘要
1	林業研究所長	村川 博輝	平成 21. 4. 1～22. 3. 31	22. 4. 1～23. 3. 31 林政課長
2	〃	若杉 隆明	22. 4. 1～24. 3. 31	
3	〃	阿部 洋悦	24. 4. 1～25. 3. 31	25. 4. 1～26. 3. 31 三八地域県民局地域農林水産部長
4	〃	山舘 昭夫	25. 4. 1～27. 3. 31	
5	〃	鎌田 哲司	27. 4. 1～28. 3. 31	
6	〃	唐牛 良太	28. 4. 1～31. 3. 31	
7	〃	木村 公樹	31. 4. 1～	



東北の元気、
日本の元気を
青森から